

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本ケミファ株式会社

コード番号 4539 URL <http://www.chemiphar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 一城

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 森 治樹

TEL 03-3863-1211

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	17,778	6.1	627	57.0	521	151.2	211	897.1
21年3月期第3四半期	16,756	—	399	—	207	—	21	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	5.56	—
21年3月期第3四半期	0.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	30,695	7,806	22.9	184.01
21年3月期	24,696	6,847	27.7	179.55

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 7,015百万円 21年3月期 6,845百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,600	5.8	750	29.3	500	37.7	200	19.0	5.25

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
[新規 1社(社名 日本薬品工業株式会社) 除外 1社(社名)]
[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 38,522,301株 | 21年3月期 | 38,522,301株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 397,485株 | 21年3月期 | 395,307株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 38,125,560株 | 21年3月期第3四半期 | 38,139,833株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
なお、上記業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、一昨年のリーマンショック以降、緩やかな回復の兆しは見えるものの、依然として予断を許さぬ見通しの状況にあり、新政府の「無駄使いの削減」のテーマの下、事業仕分けが実施され、産業界全体においても構造改革が要請されています。

このような状況の中、医薬品業界においては、従来からの社会保障財政支出抑制への対応の柱として、平成20年4月よりジェネリック医薬品使用促進のため処方せん様式が再変更されるなど、ジェネリック医薬品普及のための環境整備が進められてきました。

当社グループは、こうした市場の期待と社会の要請の高まりに応え、「信頼できるジェネリック医薬品」の普及に貢献するべく、新薬メーカーの実績に基づく安心と責任をベースにした取り組みを全社一丸となつて進めてまいりました。併せて、サプライチェーン全体に亘る生産性の向上、経営の効率化を推し進めるべく、構造改革への取り組みを継続して行っております。

なお、当社持分法適用関連会社でありました日本薬品工業株式会社について、昨年12月8日付でインダのジェネリック医薬品メーカー、ランバクシー ラボラトリー社との提携を解消したことに伴い当社子会社となりました。

(医薬品事業)

医薬品事業の業績は、ジェネリック医薬品の売上高が前年同期比18.4%の増収となったことにより、医薬品事業全体での売上高は17,244百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益は661百万円(前年同期比55.8%増)となりました。

(その他の事業)

受託試験事業を営む㈱化合物安全性研究所を含むその他の事業の業績は、売上高が534百万円(前年同期比13.7%増)となりましたが、競争の激化による原価率の上昇などにより、営業損失は32百万円(前年同期は営業損失32百万円)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は17,778百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益は627百万円(前年同期比57.0%増)、経常利益は521百万円(前年同期比151.2%増)、四半期純利益は211百万円(前年同期比897.1%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4,730百万円増加し、16,898百万円となりました。これは、主に現金及び預金並びに受取手形及び売掛金の増加によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,261百万円増加し、13,777百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5,999百万円増加し、30,695百万円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,700百万円増加し、12,162百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金並びに一年内返済予定長期借入金の増加によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2,339百万円増加し、10,726百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5,040百万円増加し、22,889百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて958百万円増加し、7,806百万円となりました。これは、主に日本薬品工業㈱を連結子会社としたことに伴う少数株主持分の発生、並びに四半期純利益及びその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により1,287百万円増加いたしました。また、投資活動においては1,394百万円の減少、財務活動においては、2,405百万円の増加となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は4,199百万円（前年同期比208.5%増）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、営業活動による資金は、主に売上債権の増加による減少はあったものの、税金等調整前四半期純利益の増加並びに仕入債務、減価償却費等の増加により1,287百万円の増加（前年同期は3,262百万円の減少）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、投資活動による資金は、主に日本薬品工業㈱を連結子会社としたことにより、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出並びに有形固定資産の取得による支出により1,394百万円の減少（前年同期は1,558百万円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、財務活動による資金は、長期借入金の返済、社債の償還による支出等があったものの長期借入収入並びに社債の発行による収入による増加があり、2,405百万円の増加（前年同期比29.9%減）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

医薬品業界では、本年4月の診療報酬改定において、通常の薬価改定に加え特に長期収載品の特例引き下げが予定されており、業界環境は普段にも増して厳しい状況にあります。一方、ジェネリック医薬品の更なる使用促進のため、後発医薬品調剤加算の改定が議論されるなど、ジェネリック医薬品普及のための環境整備も進められています。

このような状況の中、平成22年3月期予想につきましては、平成21年5月11日に公表した業績予想に対する進捗が、当第3四半期で売上高が75.3%、営業利益が83.6%、経常利益が104.2%、四半期純利益が105.5%となりましたが、平成21年12月8日にインドのランバクシー ラボラトリー社との提携を解消したことに伴い当社連結子会社となりました日本薬品工業株式会社の業績は、第4四半期から連結業績に貢献いたしますが、その影響は軽微であることに加え、第4四半期は、平成22年4月1日に予定されている薬価改定による買い控えなどの影響が考えられることから、現時点におきましては、公表している業績予想は変更をしておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社は平成21年12月8日に、持分法適用関連会社である日本薬品工業株式会社の株式をインドのランバクシー ラボラトリー社より取得したことに伴い、同社は当社の特定子会社となりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,346	1,902
受取手形及び売掛金	8,427	7,326
商品及び製品	2,510	1,798
仕掛品	689	345
原材料及び貯蔵品	440	254
繰延税金資産	327	387
その他	157	154
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	16,898	12,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,435	2,842
機械装置及び運搬具（純額）	835	554
工具、器具及び備品（純額）	266	273
土地	5,550	5,478
リース資産（純額）	215	60
建設仮勘定	42	22
有形固定資産合計	10,344	9,231
無形固定資産		
のれん	434	—
リース資産	24	24
ソフトウェア	21	19
電話加入権	23	21
無形固定資産合計	503	65
投資その他の資産		
投資有価証券	1,054	1,348
長期貸付金	9	10
長期前払費用	7	11
敷金及び保証金	149	154
繰延税金資産	439	340
その他	1,376	1,451
貸倒引当金	△108	△97
投資その他の資産合計	2,928	3,218
固定資産合計	13,777	12,515
繰延資産		
社債発行費	20	13
繰延資産合計	20	13
資産合計	30,695	24,696

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,305	3,410
短期借入金	1,570	1,160
1年内償還予定の社債	490	320
1年内返済予定の長期借入金	2,429	1,696
リース債務	51	19
未払金	152	155
未払法人税等	147	257
未払消費税等	137	105
未払費用	1,625	1,510
預り金	174	36
返品調整引当金	5	6
販売促進引当金	315	312
その他	758	472
流動負債合計	12,162	9,462
固定負債		
社債	1,175	690
長期借入金	6,901	5,497
リース債務	203	69
退職給付引当金	608	313
役員退職慰労引当金	247	226
再評価に係る繰延税金負債	1,589	1,589
その他	—	0
固定負債合計	10,726	8,386
負債合計	22,889	17,848
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,304	4,304
利益剰余金	1,006	910
自己株式	△158	△158
株主資本合計	5,152	5,056
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△170	△243
土地再評価差額金	2,033	2,033
評価・換算差額等合計	1,862	1,789
新株予約権	3	1
少数株主持分	788	0
純資産合計	7,806	6,847
負債純資産合計	30,695	24,696

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	16,756	17,778
売上原価	7,716	8,471
売上総利益	9,040	9,307
返品調整引当金繰入額	0	—
返品調整引当金戻入額	—	0
差引売上総利益	9,040	9,307
販売費及び一般管理費	8,640	8,679
営業利益	399	627
営業外収益		
受取利息	9	3
受取配当金	26	24
固定資産賃貸料	23	19
持分法による投資利益	35	48
その他	18	15
営業外収益合計	112	111
営業外費用		
支払利息	94	148
手形売却損	38	20
支払手数料	146	25
その他	26	23
営業外費用合計	305	217
経常利益	207	521
特別損失		
たな卸資産評価損	2	—
固定資産除却損	4	—
投資有価証券評価損	—	76
その他	2	—
特別損失合計	9	76
税金等調整前四半期純利益	198	445
法人税、住民税及び事業税	63	141
法人税等調整額	113	92
法人税等合計	176	234
少数株主損失(△)	△0	△0
四半期純利益	21	211

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	198	445
減価償却費	408	467
社債発行費償却	1	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△0
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	87	△2
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	24	82
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	20	△3
受取利息及び受取配当金	△36	△27
支払利息	94	148
手形売却損	38	20
固定資産除却損	6	6
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	76
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,679	△732
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△509	△497
たな卸資産評価損	2	—
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	148	△4
仕入債務の増減額 (△は減少)	△773	1,431
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	74	433
未払消費税等の増減額 (△は減少)	83	△17
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△2	3
その他	△35	△39
小計	△2,846	1,793
利息及び配当金の受取額	39	29
利息の支払額	△123	△166
法人税等の支払額	△332	△369
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,262	1,287
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,027	△510
投資有価証券の取得による支出	△38	△4
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△868
貸付けによる支出	△2	△2
貸付金の回収による収入	1	2
差入保証金の回収による収入	26	3
長期預金の払戻による収入	—	500
長期預金の預入による支出	—	△500
その他の支出	△511	△11
その他	△6	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,558	△1,394

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	486	165
長期借入れによる収入	4,800	3,500
長期借入金の返済による支出	△1,442	△1,378
社債の発行による収入	—	500
社債の償還による支出	△290	△240
配当金の支払額	△113	△113
その他	△8	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,431	2,405
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,389	2,297
現金及び現金同等物の期首残高	2,751	1,902
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,361	4,199

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

（単位：百万円）

	医薬品事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	16,287	469	16,756	—	16,756
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	41	41	(41)	—
計	16,287	510	16,797	(41)	16,756
営業利益又は営業損失(△)	424	△ 32	392	7	399

(注) 1 事業区分の方法は製品・商品の種類、販売市場の類似性を考慮し、医薬品事業、その他の事業にセグメンテーションしております。

2 各区分に属する主要製品・商品

事業区分	主要な製品・商品
医薬品事業	医療用医薬品
その他の事業	化粧品・健康食品等販売、安全性試験の受託等

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	医薬品事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	17,244	534	17,778	—	17,778
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	109	109	(109)	—
計	17,244	643	17,888	(109)	17,778
営業利益又は営業損失(△)	661	△ 32	629	(1)	627

(注) 1 事業区分の方法は製品・商品の種類、販売市場の類似性を考慮し、医薬品事業、その他の事業にセグメンテーションしております。

2 各区分に属する主要製品・商品

事業区分	主要な製品・商品
医薬品事業	医療用医薬品
その他の事業	化粧品・健康食品等販売、安全性試験の受託等

3 前第3四半期連結累計期間において持分法適用関連会社である日本薬品工業株式会社は、当第3四半期連結累計期間に株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めておりますが、当該連結対象は、当第3四半期末であるため当該会社の第3四半期連結累計期間の業績は、「医薬品事業」に含めておりません。

②所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

所在地別セグメント情報につきましては、在外連結子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

③海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外売上高につきましては、輸出の連結売上高に占める割合が10%未満であるため、記載を省略しております。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

該当事項はありません。